

ヘルスケアミーティング 2020

2020年11月22日

12:30 ~ 15:30

会場

KFC Hall & Rooms
Room 115 (両国)
東京都墨田区横網 1-6-1

ZOOM Webinar
(オンライン)

特別シンポジウム

歯周病の新分類

新型コロナウイルス感染症拡大のため、ヘルスケアミーティング 2020 は、2 日間のプログラムを大幅に縮小して半日のプログラムとし、主にオンライン (Zoom) での開催とします。会場は、3 密を避けるために定員を大幅に減らし 40 名定員とします。なお、講演 1 の関野愉先生と問題提起の杉山精一代表は、両国の会場で講演します。

プログラム

- 12:30 オープニング
- 12:35 新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望
杉山精一 日本ヘルスケア歯科学会 代表
- 12:50 問題提起 歯周病の新分類 —— どう変わる? どう活かす?
杉山精一
- 13:05 講演 1 歯周病の新分類の臨床的意義
関野 愉 日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授



新分類で、侵襲性歯周炎という名称がなくなった背景と、新分類の考え方と臨床的な活かし方について解説していただきます。

歯周病の進行に関わる因子についての最新の研究ゲノミクス、プロテオミクス、メタボロミクスとは何かを概説し、歯周病の進行に関わる因子に関する主要な研究成果を紹介していただきます。

- 13:55 休憩
- 14:05 講演 2 新分類のグレードを分けるバイオマーカーを探る
久保庭雅恵 大阪大学大学院歯学研究科 口腔分子免疫制御学講座 准教授
- 15:00 質疑
- 15:30 終了



「侵襲性」

はどこへ行っただ?

参加申込

会場参加

- ・定員：40 名
- ・参加費：5,000 円 / 1 名
- ・KFC Hall & Rooms 11F
Room 115
墨田区横網 1-6-1
国際ファッションセンタービル



■裏面の参加申込書を FAX、またはホームページからお申込みください。お申込み受理後、事務局より振込案内を郵送します。お支払いの確認後、ネームカード (当日の入場券) をお送りいたします。定員になり次第締め切ります。

オンライン参加

- ・定員：500 アカウント
- ・参加費：5,000 円 / 1 アカウント
オンラインでの視聴 (Q&A あり) は個人参加でも診療所内や複数の診療所が集まって参加する場合でも 1 アカウント同額です。
YouTube で同時配信。アーカイブ (オンデマンド) 配信はありません。
- ・定員：500 アカウント

■オンライン参加の申込みは、ホームページからのみの受付になります。(お支払いは PayPal で)



The Japan Health Care Dental Association
一般社団法人 日本ヘルスケア歯科学会

ヘルスケアミーティング 2020

2020年11月22日
12:30 ~ 15:30

会場

KFC Hall & Rooms
Room 115 (両国)

ZOOM Webinar
(オンライン)

特別シンポジウム 歯周病の新分類



新型コロナウイルス感染症禍と今後の展望 杉山精一

進行の早い歯周炎に遭遇することがあります。早期に発見して治療，メンテナンスできればと思いますが，原因はよくわかっていません。新分類では，侵襲性歯周炎という名称がなくなってしまいました。今後，どのように考えて対応すればいいのでしょうか。歯周病研究の現状を整理して理解し，最新の研究成果を勉強する機会としましょう。

講演 1：歯周病新分類の臨床的意義



日本歯科大学生命歯学部歯周病学講座 准教授
関野 愉

近年，歯周病の国際分類から急速破壊性（侵襲性）歯周炎がなくなり，Stage と Grade による分類が適用されるようになってきている。その背景には，現在までに積み重ねられてきた研究において，病態生理学的に慢性歯周炎との間に違いがあると言える根拠が十分になかったことが挙げられる。また，それ特有の治療法のプロトコールが確立されなかったことも関係している。しかし，「違いがあるとえる根拠がない」ことは「同じである」と同義語ではない。言い換えれば「完全に異なる疾患であるという根拠もない」とも受け取れる。

日常的に遭遇する典型的な歯周炎とは明らかに異なった特徴を持つ患者の存在は多くの臨床医が経験しているところであり，おそらく Grade C の条件の一つである「バイオフィルムの沈着量から予測されるよりも重度な組織破壊」の部分に集約されている。これが今後どのように解釈されていくのか，注目していきたい。また，この新分類に関して，疑問点も多々あり，日々議論が繰り返されている。

そんな中で，現在ヨーロッパ歯周病学会（EFP）では，各種の歯周治療の現在までのエビデンスがポジションペーパーとしてまとめられ，新分類に対応した治療法のガイドラインが制作されているところであり，この解説も含めて新分類の意義について論じていきたい。

「侵襲性」はどこへ行っただ？

講演 2：新分類のグレードを分けるバイオマーカーを探る



大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座予防歯科学分野 准教授
久保庭 雅恵

メタボローム解析は，既知の情報からは想定できなかったことを，代謝産物のレベルで網羅的に探索する手法であり，疾病の診断や重症度評価に直結する新規バイオマーカーを探索する上で，現在望みうる最高の解析手法の一つである。

我々が研究対象としている歯周病では，歯周組織と，そこに近接して存在する歯肉縁下細菌叢よりなる歯肉縁下生物共同体（コンソーシアム）において，疾患重篤度の変化に伴う酵素活性の変動が起こり，歯周病特有の代謝物のパターン（メタボロームプロファイル）へと変化し，それが唾液や血液にも反映することが予想される。そこで，歯周病の病態を定量的に表現し得る Periodontal Inflamed Surface Area (PISA) を目的変数とし，唾液を試料としたメタボロミクスを実施することにより，歯周病に由来する炎症の予測モデルの構築を試みた。その結果，歯周病患者のバイオフィルム中ではポリアミン代謝経路が活性化し，カダベリンやプトレッシンなど複数のポリアミン類が高頻度にバイオフィルムから唾液中へと放出されていることが明らかとなった。

本シンポジウムでは，我々の研究グループによるメタボロミクス研究のみならず，ゲノミクス，プロテオミクスも含めたオミクス研究全般について概説し，歯周病の進行に関わる因子に関する最新の知見をご紹介させていただく。

日本ヘルスケア歯科学会 11/22 ヘルスケアミーティング2020 会場参加申込 FAX : 03-3260-4906

お名前 会員歯科医師 会員スタッフ ヘルス（学会通貨）で支払う
 非会員歯科医師 非会員スタッフ ※会場参加の場合のみヘルスの利用可能。
 学生 研修医

所属医療機関名など

連絡先住所 勤務先 自宅

e-mail _____ @ _____

オンライン参加はホームページから
お申込みください



The Japan Health Care Dental Association
一般社団法人日本ヘルスケア歯科学会

〒112-0014 東京都文京区関口1-45-15-104
TEL: 03-5227-3716 FAX: 03-3260-4906